

拠出金名：大西洋まぐろ類保存国際委員会拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(農林水産省)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				62,284千円	
国際機関等名	大西洋まぐろ類保存国際委員会 (英文名称・略称) International Commission for the Conservation of Atlantic Tunas				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	農林水産省水産庁国際課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成19年度	34,844	300		1米ドル = 116円	100
平成18年度	34,227	308		1米ドル = 111円	100
平成17年度	32,993	308		1米ドル = 107円	100
当該拠出金の目的・用途等	大西洋のまぐろ類の資源管理に必要な漁業統計改善のため、統計の情報収集体制が脆弱な途上国に対する統計改善のための事業				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2006年のもの)			国際機関等の財政 (2006年度決算)		
	国名	金額 (千EUR)(注2)	拠出率 (%)(注1)	当該年度の収入 2,658,405EUR	
1位	日本	241	58	当該年度の支出 2,308,043EUR	
2位	米国	175	42	次年度への繰越 350,362EUR	
3位				会計検査機関名	
4位				Bernardo TAHOCES ACEBO	
5位				スペイン	
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>ICCATは、大西洋全域における高度回遊性魚類(マグロ・カツオ等)の資源管理を目的として設立された地域漁業管理機関である。当該海域においては、日本漁船によりマグロ類の水揚げが年間約3万トンあるほか、当該海域で加盟国が漁獲したマグロ類(特にクロマグロ、メバチ)の多くが刺身用として日本へ輸出されている。近年、大西洋のマグロ資源が減少する中、経済発展を目的とした沿岸途上国の加盟が増加しており、効果的な保存管理措置の導入が急務となっていることから、ICCATの果たす役割は重要と評価。</p>					
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>					
<p>ICCATにおいては、毎年、加盟国に対して拘束力を有する措置を含む新たな保存管理措置等が検討、定められている。我が国としては、漁業国及び主要なまぐろの消費国としての責務から、措置の策定過程にも積極的にかかわり、科学的根拠に基づく保存管理措置を支持する立場にある。このため、我が国等が拠出金を提供することにより、科学調査の機能強化が図られ、より適切な保存管理措置を定めるための有益な科学データが得られる。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上	1人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		22人 5%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
<p>ICCAT事務局へ当該事業のコーディネーターとして派遣し、当該事業を円滑かつ効果的に実施するために、事務局及び関係国との調整、情報収集及び計画立案を行い、運営を主導する。</p>					

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) 我が国拠出金はドル建てであるが、機関の会計はEUR建てによる報告のため(拠出金300\$ = 241千EUR)。